

開催日時:10月17日24日①13:30~14:45②15:00~16:15 参加者62名

2025年度 第2回2年目看護師対象シリーズ研修報告書

「退院後の生活を見据えた看護」

その人らしい生活を支える看護をしよう!

研修目的 自立した看護師として、看護実践できるための、知識・技術・態度を修得する

- 研修目標
1. 地域包括ケアシステムにおける当院の入退院支援の目的と看護師の役割を説明できる。
 2. 入院時から退院を見据えたアセスメントの視点を理解できる。
 3. 退院支援に必要な多職種連携のポイントを理解できる。
 4. 事例を通して、患者の生活背景をふまえた支援の工夫を考えられる。



STEP1 事前課題

模擬患者 足立さん(仮名)82歳女性

誤嚥性肺炎で入院してきました。

足立さんの入院時スクリーニング・アセスメントシートをチェックし、患者の目標に対する『具体的な目標』を考えました。



患者の目標
「孫と諏訪神社に行き、正月は家で家族と過ごしたい」

STEP2 講義 地域包括ケア・入退院支援について

講師

メディカルサポートセンター
地域医療連携センター
山口真美看護師長



退院までが目標ではありません。退院してからも、患者の日常生活は続いていきます。

退院後の生活を見据えた『患者の目標』に沿って支援を行うのが、病棟看護師の役割です!



STEP3 グループワーク

模擬事例の具体的目標を立て、看護師が実践すること、患者が実践すること、多職種と協働することについてグループメンバーと検討しました。

看護師が実践すること

- ・嚥下状況の観察
- ・食事前の口腔ケア
- ・病棟内の歩行訓練
- ・バイタルサイン測定 など

具体的な目標(一例)

- ★体力を維持し、ADLを向上させることができる



多職種と協働すること

- ・栄養士と必要な栄養量や食事形態を検討
- ・理学療法士とリハビリ状況の確認
- など

患者が実践すること

- ・リハビリを頑張る
- ・転ばないようゆっくり歩く など

グループワークより一部抜粋

<担当者よりメッセージ>

2年目看護師のみなさんへ

退院支援に向けて患者さんに何が必要かを考えながら、目標設定や看護介入、多職種連携の必要性を再度認識する機会になったと思います。ぜひ実践に活かして「その人らしい生活を支える看護」を行っていきましょう!!

部署の先輩方へ

患者の個別の背景に寄り添って「退院後の生活を見据えた看護介入」を実践することの大切さを改めて学びました。今後の計画立案や実践につながるよう引き続きご指導をお願いします!!